

応用脳科学の進展 2017

APPLIED BRAIN SCIENCES

二〇一七年二月二十七日（月）

早稲田大学所沢キャンパス一〇一号館

参加無料・入場自由

オーガナイザー 熊野 宏昭（早稲田大学人間科学学術院教授・応用脳科学研究所）

第一部 ポスター・セッション（二〇五・二〇六・二〇七室）

十二時三〇分～十四時二〇分

研究所メンバーの研究成果発表（前半・後半）

第二部 教育講演（二〇一室）

十四時三〇分～十五時二〇分

座長 村岡 慶裕（早稲田大学人間科学学術院教授・応用脳科学研究所）

演者 大須 理英子（早稲田大学人間科学学術院教授着任予定 四月より）

「脳科学の社会活用への試みと課題」

「リハビリやマーケティングを例として」

第三部 シンポジウム「マインドフルネスと記憶の認知神経科学」（二〇一室）

十五時三〇分～十七時三〇分

座長 熊野宏昭（早稲田大学人間科学学術院教授・応用脳科学研究所）

シンポジスト 高橋 徹（早稲田大学大学院人間科学研究科）

「マインドフルネスが記憶に与える影響」

仁田 雄介（早稲田大学大学院人間科学研究科）

「再固定化理論から見たマインドフルネス」

松本 昇（筑波大学大学院人間総合科学研究科）

「マインドフルネスは自伝的記憶の病理に効果的か？」

藤野 正寛（京都大学大学院教育学研究科）

「マインドフルネスが記憶関連脳領域の関与に与える影響」

共催 早稲田大学応用脳科学研究所／日本心理学会注意障害研究会
事務局 早稲田大学応用脳科学研究所 2017abs@gmail.com

